

令和8年熊本地震の新幹線の状況など（メモ）

株式会社システムアンドデータリサーチ（2026/08/03）

2026年7月28日16:27に発生した令和8年熊本地震（暫定M7.1）に関連して、ニュースなどで新幹線が停止している写真がよく見られますが、地震発生時間などから、南側のトンネルを出たところで停止しているのは、博多行き（北に向けて走行）のさくら766号（所定では新水俣16:17発新八代16:30着）と考えられます（下はアジア航測による写真：左側が博多側）。警報システムにより停止し、その先でレール破断をしているためその場で乗客を降ろしたというニュースがありますので、一度停止してから移動はしていないと考えられます。ちなみに、新幹線の場合、緊急ブレーキから停止まで2~3km必要です。また、地震の影響範囲では以下の4列車が走行中だったと思われます。

【南行き：鹿児島方面】

さくら407号（熊本16:15発 新八代16:27着）

さくら757号（熊本16:39着）

【北行き：博多方面】

つばめ326号（熊本16:20発）

さくら766号（新水俣16:17発 新八代16:31着）

なお、NHKの29日のニュースによると4列車が緊急停止し、7人（JRの発表では8人）が負傷したとのことです。またJRの発表によると、このあたりで線路が破断（500mm以上の開口）しているものと考えられます。

次のページに新幹線の停止位置と高速道路の橋桁がずれた八代ジャンクションなどの位置を示します。断層が地表に現れた地点を含め、数100mの範囲に集中していることが分かります。



位置図



九州自動車道の橋桁ずれと日奈久断層帯が地表に現れた地点

北方の博多に向かって走行中の
さくら766号の停止位置



200m

本資料は、JR九州、国土交通省、アジア航測、NHKなどのサイトの情報を元にまとめました。